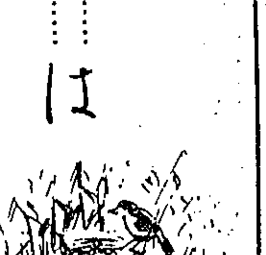
今年の作況は



今年は凶作だとか、作況やゝ不良だとかと種々新聞等に報じられて居るが、こうも言はれるのも稲の生育遅延が原因であり、即ち不順な天候が生んだ現象であることは言うまでもない決定的な要因である。不順な天候も水爆の影響だとか種々論じられているが、その後天候の回復により、稲の生育的な面でいくらかのばん回が加えられ、本年度の作況も増収に向はんと農家は勿論、各方面から期待がかけられている。

では本白根町に於ける作出来は果してどうか。先づ以って生育の初期からふりかいって見て今後の予想をも見て作況を評して見よう。初期に於ける天候が不順のため苗の伸び並に出葉が遅れ・葉数も少なかったのは承知のことであるが、そのまゝ本田へ持ち込まれ、併せて本田に於ても低温と日照不足とにより生育がいっこうに進まず、いつまでも植えたまゝの状態が続く状態であった。しかも病害虫の発生が大いに懸念されなかったが進まずかなりの凶作化となったのであるから、県は勿論、当町に於てもこれらの対策に万全を期し、先づもって大敵である二化螟虫の駆除のため、百五拾萬円の費用を投じて動力噴霧機、ハンドブラザーとあらゆる撒布器具を総動員して耕作全町歩に亘り各防除班必死となり、ホリドールの一斉撒布をなし、螟虫の被害を喰い止めたのである。七月に至っては一応天候が回復に向い、生育の問題は一応解決の途に向ったのであるが、急激な温度の上昇等が予想せられ、土壌中の有機物が急速に分解され一擧に肥料が出て稲に吸収されるため、それに伴い稲熱病の発生が憂慮されたのであった。しかし「よそのオカカと青田をほめるな」のこの指導方針に従い、熱心な農家の稲作技術がこの葉イモチ病の発生を少くした。こうやって充分な栄養成長をなさずして、生殖成長へと移されたのであるが、此の頃になっては早生種は殆んど穂が出揃って稔りを待つのみとなっている。しかし初期からの発育遅延により出穂が五日から一週間位の遅れを見て居り、農林一号に於ては、二十年以来の出穂の遅延だと言われている。従って多少の早期米の遅れが、決定的で当米も例年より遅れ目となろう。これで早生種は八分作の感が抽出される。しかして中晩生はどうかと言うと多少の生育の遅延があるものゝ、完全な様相で生育を進めているので先づ上々と言いよう。これで現在までの生育状況等をかへり見たのであるが、現在こゝで作況を評するならば、先づもって平年作と評しても過言でなく、それ以上の作況指数が打ち出されるのであるが、稲作はこれから先づ問題であり大きな難関が待っている。それは穂首イモチ、枝梗イモチ病であり、この発生が穂全体が不稔に到らしめられ、折角の労も無にされるのである。胞子の飛散状況からしてもかなりの発生が予想せられている。これらの防除対策についても、各防除班に於いて未然に防除すべく、万全な整備が構じられているが肝心な農薬が全県的に不足となっている関係上、多大な発生となると充分な防除が出来得ないことになる。病虫害問題が少発程度に終り順調な天候で現在のまゝの状態で収穫期まで行くならば、平年作以上の成績を残すであろう。いずれにしても今年の作はやゝ上出来と評し結びたい。湿田から乾田へと移された稲作技術が益々進捗の度を加へて居るが、苗代期より収穫期に至るまで幾多の難関があることを付け加へたい。

（白根町農業共済組合技師）

レスリング國体制覇の 小林幸男君

今年十七才、北越商業高校三年生在学中の小林幸男君は、重量級高校レスリングの文字通り第一人者として他の追隨を許さない。

一昨年十一月、全校レスリング入部以来黙々として撓まず只管練習に精進した。翌二十八年練習九ヶ月若冠二年生で、選ばれて寄居中学に於ける全日本選抜大会の晴れのマットに登った。しかし小久保（慶応大学選手）に僅少の差で敗れて二位にとどまったが、北商に小林の存在を高く示した。続いて八月、東京青山の全日本レスリング大会には全国三十名の選手剛を退けて第二位、この頃から彼の練習は三年渡辺啓男（六十七K国体優勝）や、全白根田巻信司君等々の指導を得て更に堅実な度合を増した。全九月行はれた県民体育祭に六十二Kで優勝、次いで十月北海道庁、函館市共催、三笠宮両殿下臨場の大会に新潟商本間、北越商小林、全渡辺が信越北陸代表に選ばれ参加、共に優勝賜杯を総ざらいして、レスリング王国新潟の名をほしいまゝにした。更に十月国体には一般及大学の部にオリンピック選手笹島氏に代って出場、三回戦に敗れたが堂々の戦績を残した。更に半歳、今年五月寄居中学での全日本選抜に第一位、又先日七月三十一日八月二日、館林市で行はれた全日本大会に、四十名の強剛に圧到的な力量を示して優勝、今回北海道旭川市の国民大育大会に出場、全国の強剛を相手に堂々遂に全国制覇をなしとげ、郷土の為万丈の気えんをはいたのである。

以上端に見る好成績は、勿論天禀の素質もさること乍ら、彼の試合、練習そして日常の生活は運動選手としての生活にも、一として欠くるところはなかった。爪合戦の絢爛華麗さはない、只黙々とその時に全力を傾ける姿は尊いものである。学生としての生活態度も謙譲で、成績も優良である。

願はくば来年三月卒業の折には、是非とも大学へ進学して、更にレスリングと学業の練磨に努められ、後輩の指導と、白根の一町民として、更に新潟県否日本の為に輝かしい成果をあげて頂きたいものと念願し、同君の自重自愛を望むや切である。

環境衛生について

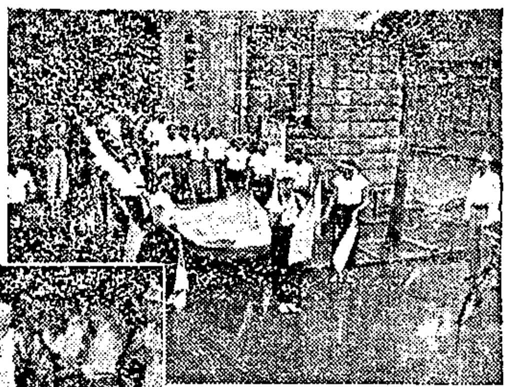
皆様連日のこの残暑にも拘らず、健康を保持され誠に御同慶であります。

しかし皆様の身辺には蠅、蚊「ノミ」などが沢山いて休養なされるために蚊張を用い、蠅取りを使いなどして安眠を採られることゝ存じます。若しこの蠅取蚊張などを用いずにすんだら、どんなによいだろうとお思いのことゝ推量致します。

これら衛生昆虫類の如何に人間の病いの媒介をなすかは末尾に記しおきましたが、実に恐しいものであります。殊に農村には畜舎があり、田圃があって蠅、蚊等の多い事と思います。最近田圃にはホリドール農薬を御使用になるので、田圃からの蚊の発生する悩みは大いに減った事と思いますが、このホリドールは人畜に有毒のものですから、一般の人の使用は出来ません不便があるので、少量使用しているのには人畜に支障のないDDT又はBHCリンデン等が使用されていることは既に御存知と思います。

先頃某家をお訪ねしたときのお話に、西蒲長所という村え行ったら、蚊がいないから蚊張を使用しないというので、淡やんでいられました。当町も多額の費用を投じてこの蠅、蚊の退治に大童となっていますが、未だその顕著なる効果が上らないので退治には町民の皆様の御協力を是非共必要とするので、お互は住家に対し住みよい所になるよう、家内は春秋二回位の大清潔法を実施し、その際床下床上にはDDT粉末を撒布し家の周囲の側溝を浚い下水悪水溜など通水をよくしたり、なくしたりしてその上町の消毒班が行きましたなら、此所彼所とお指図をお願いし、消毒薬の撒布に御協力願いその効果を百%にして頂き度いのです。

蠅やかの退治には、多勢が共同一致して実行致さねば、人任せではその効果は現れません。どうぞ皆様の絶大なる御協力をいやが上にもお願いし、蠅、かのいない住みよい町に致そうではありませんか。蠅は赤痢、腸チフス、パラチフス、食中毒症コレラ、アメーバ赤痢、小児麻痺かは日本脳炎、マラリヤ、テング熱、黄熱病の媒介をします。



前回の開催地松山市から、第九回国民体育大会会場札幌市円山陸上競技場の式場に大会旗をリレーの途中、七月二十九日白根町に到着各団体によって町内をリレーし、翌早朝西蒲原に引継いだ。

晴れの檜舞台へ 白根卓球クラブ出場

十月上旬、東京に於て開催される全国青年大会に、本県を代表して左の六氏が県民の栄誉を担って出場することに決定した。敢斗を祈る。

戸石喜市郎　星野光男
笠井修作　湯川晶子
坂井誠一郎　田村富美子

9月15日＝町民大運動会

町民の優和を図る一年中で一番楽しい町民運動会は九月十五日に開催されることに決定された。

昨年の優勝町内は三之町であった。

本年は我こそはと五十有餘町内必勝の意気は物凄く、戦前すでに各町内とも秘策を練り、練習に一生懸命、

さて、今年の覇権の行方は？

一方当日の慰労会の献立料理に奥さま連ヒタイを集めての協議又熱議という熱の入れ方。

（気のもめる瓶釣競走）

東都画壇に進出

白根町唯一の絵画同好会「杵汐会」の玉木健氏、巻口貞弘両君は、九月一日から東京上野美術館で開催の第九回行動美術展に初入選した。日頃の精進の賜である。両君の自重と精進を祈る。

助役就任さる

長い間空席であつた助役は、八月十七日の臨時町議会に保倉三之丈氏を推せん、二十三日就任された。

役場の窓口

◆県民税について

今回地方税法の改正に伴い、県民税が創設されましたことは周知の通りであります。

県民税は市町村民税の収入の一部を移譲して設けられたもので、その納税義務者は市町村民税の納税義務者と全く同一であります。

個人に対しては均等割及び所得割を法人に対しては均等割及び法人税割を賦課致します。

その税率は

均等割　個人　一〇〇円
　　　　法人　六〇〇円

所得割県より配賦を受けた県民税の所得割額を、市町村民税の所得割額の総額で除した率（当町に於ては百分の十七）

県より配賦を受けた所得割総額÷市町村民税の所得割総額＝0.17

例に 市町村民税の所得割額が5,500円の場合

県民税の所得割は

5,500円×0.17＝935円

（県民税の所得割）

法人税割法人税額の百分の五

納期は市町村民税の納期と同じです

昭和二十四年度まで県民税がありましたが、その当時は県民税、町民税とはっきり区別され都合により、県民税のみ先に納税する事も出来ましたが、今回は県民税、市町村民税の区別なく徴収する事になって居り、徴収した金額を県民税と市町村民税にあん分することになります。

従って以前の様に、県民税と市町村民税を分けて納税する事が出来なくなりましたが、已むを得ず分納する場合には、その分納された金額をあん分する事になります。

又法人に対する県民税は総て申告納付でありまして、個人の様に徴税令書を配布致しません。

（税務課）

×

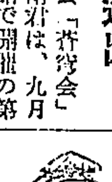
◆共同募金近づく

例年の通り、街頭に繰り拡げられる国民たすけあい運動の『赤い羽根』募金は十月一日より一ヶ月間、皆様の温い御同情と御協力を切望しています。

尚、この外戸別募金、興行募金、大口募金とあります。皆様の絶大なる御協力によつて、本年も期限内完遂できるようお願いいたします。

（民生課）

公民館だより



△公民館の主なる行事予定

町民大運動会　九月十五日
謄写印刷講習会　九月　下旬
商業簿記講習会　十月　上旬
敬老会　十月十日
経済講演会　十月　中旬
時事講演会　十月　下旬
館報十七号発行　十月　下旬
文化祭　十一月二・三・四日予定

△図書の利用を望む

日一日と取入れの秋も深くなり、いよいよ読書のシーズンとなります。公民館では、日曜、祭日を除き毎日午前九時より午後四時まで図書の貸出しを行っているが、現在ではその利用者は二百余名の多きに達しています。

まだ利用されていない方の、積極的な読書を望んでいます。

尚購入希望図書があったら、どしどし申込んで下さい。